

研 修 部 だ よ り

全体研修 3

全員が自信をもつために

お盆休み明けの8月18日(金)、職員作業兼全体研修を行いました。本年度は、“職員作業”と“全体研修”とを併せた作業を計画しました。暑い中での除草作業等、本当にありがとうございました。

この季節、草は驚くほどよく伸びます。大変暑い時期ではありましたが、2学期に登校する幼児・児童・生徒が気持ちよく、安全・快適に学校生活をスタートできるよう夏期休業中に職員作業が設定されました。

一方、全体研修としては“職員全員が自信をもてる職場づくり”をねらいとして企画しました。作業は、6グループに分かれて築山の除草・運動場の塩カル撒き・手すりや柱のペンキ塗りを行いました。各グループは視覚に障害のある職員1名、アイマスクを付けた職員1~2名を含む4~6名で構成されました。

本校には視覚に障害のある職員も勤務しています。4月の職員室移動や3月の卒業式準備等、職員全員で作業を行う場面があります。その際、少しの意識と工夫により、全員が自信をもって作業に参加することができます。



作業を終えて

先生方の感想をいくつかご紹介します。

“この斜面はあと 10 本できれいになります”という具体的な数字を伝えてもらうことで、疲れた心のモチベーションを上げることができた”

“言葉による具体的な指示が繰り返し行われると安心する”

“日頃の生活に近い行動の研修だったので、より身近に見えないことでおこる難しさの場面を感じることができた”

見えない／見えにくい方と一緒に作業をする際、ペアを組む方法があります。ペアになった人は、見えない／見えにくい方が作業全体の見通しをもてるように説明すること、作業内容を具体的に説明することが大切です。また、見えない／見えにくい方に応じた作業を割り振ることが重要です。職員同士で得た気づきを、2学期からの幼児児童生徒への指導に活かして欲しいと思います。

全体研修にお疲れさまでした。

